

NASH様肝疾患誘発飼料

飼料の取扱い易さと病態誘発のバランスに優れ、
 程度の異なる病態を誘発できる2つの飼料を開発！

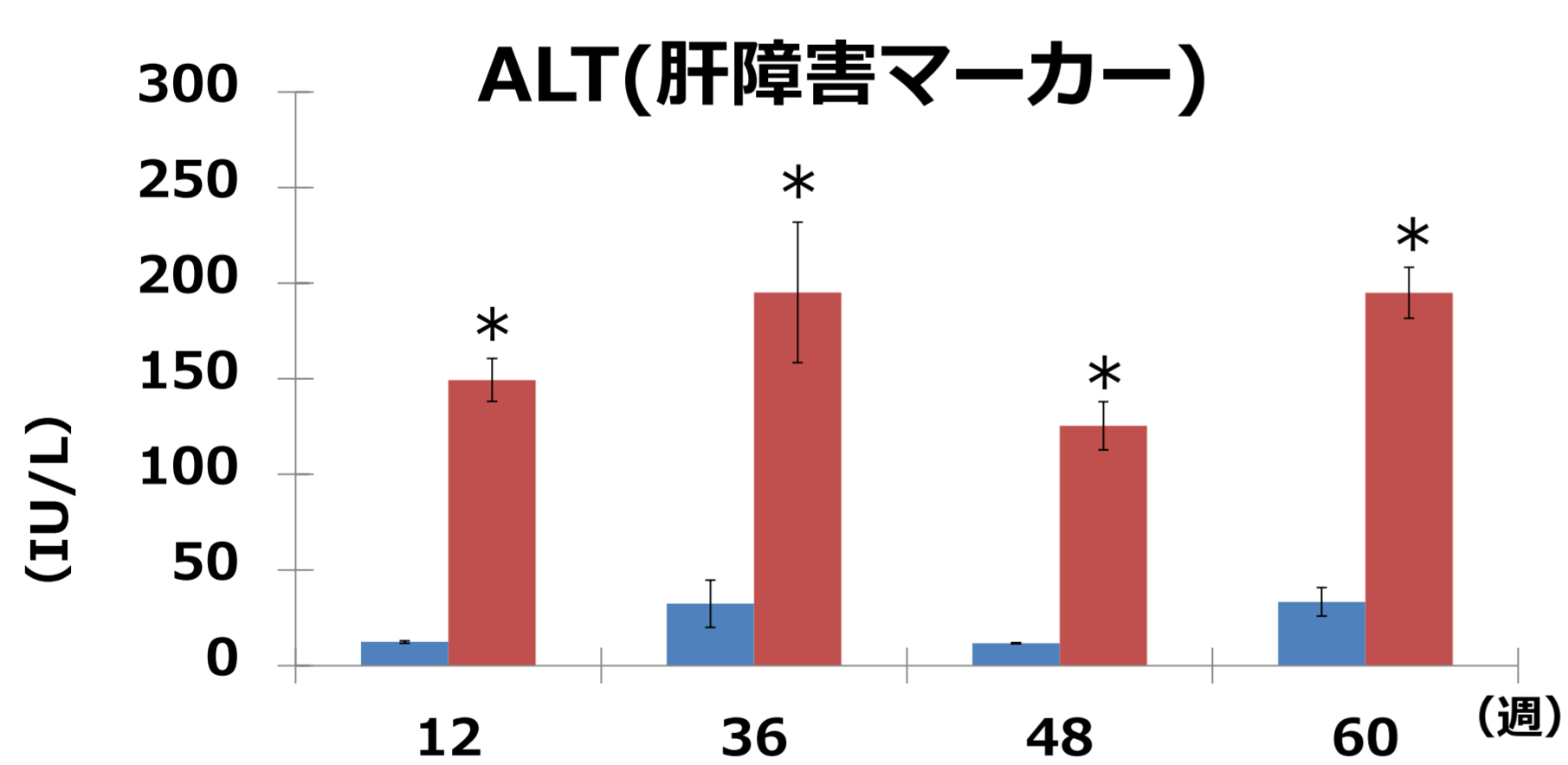
	マイルドな 病態誘発用 OYC-NASH1	シビアな 病態誘発用 OYC-NASH2	一般的な メチオニン コリン無添加飼料	一般的な コリン無添加飼料	一般的な 高脂肪飼料
■ 飼料の固型性	◎	○	○	○	△
■ 摂餌量	○	○	×	○	△
■ 摂取カロリー	○	○	×	△	◎
■ 肝臓：脂肪蓄積	◎	◎	◎	△	△
■ 肝臓：炎症、線維化	○	◎	◎	△	×
■ 肝臓：腫瘍形成	○	◎	△	△	×

(※一般的な各飼料の評価は、論文等の報告を踏まえた上でのイメージとなります)

OYC-NASH1

供試動物C57BL/6J(オス:各群n=3-5)

- AIN-93G/M(対照群：一般的な精製飼料)
- OYC-NASH1(試験群)



OYC-NASH1 : 36週



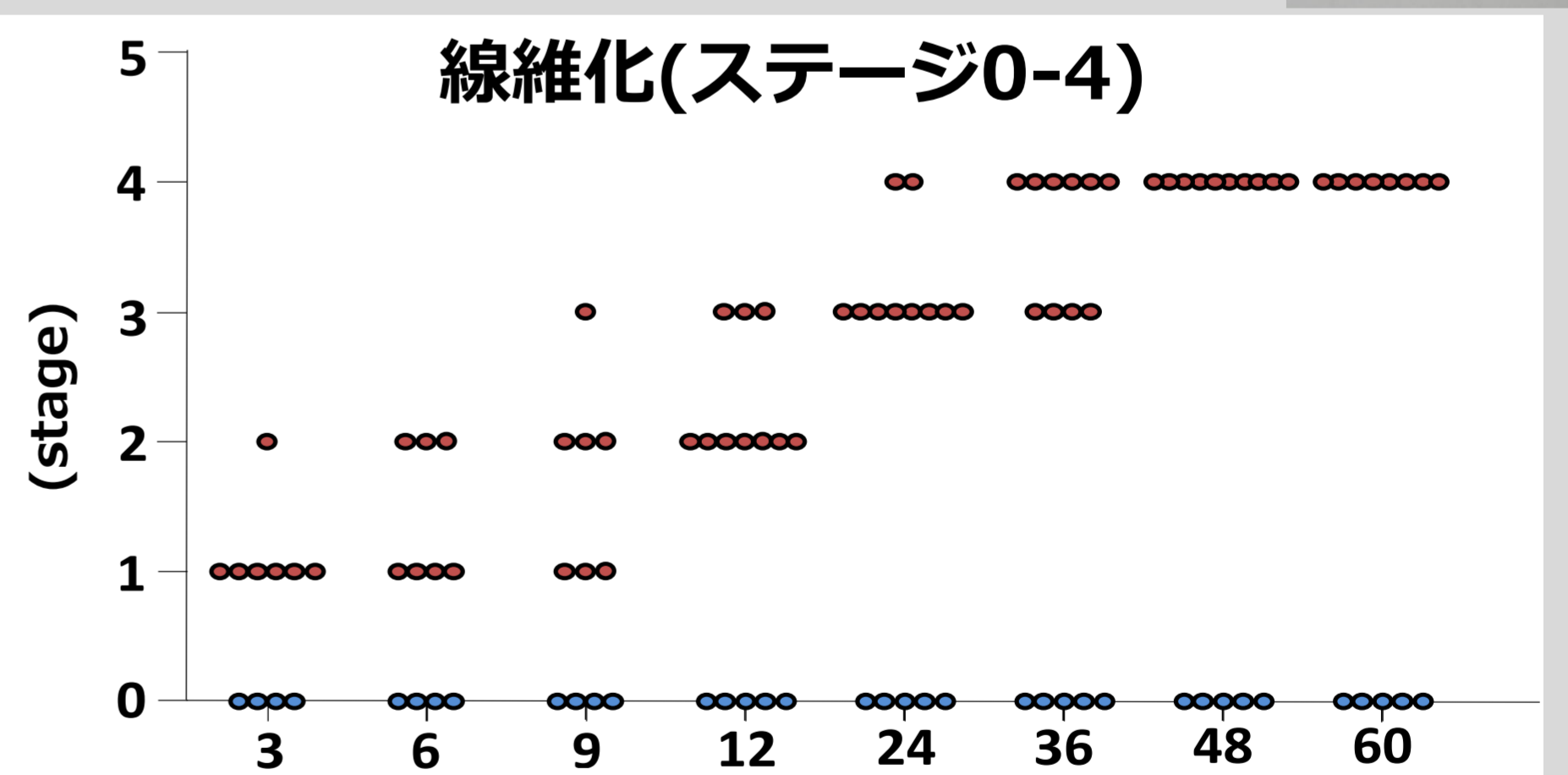
OYC-NASH1 : 48週

- 脂肪肝 + 肝炎
- 軽度線維化：ステージ1~2

OYC-NASH2

供試動物C57BL/6J(オス:各群n=4-10)

- AIN-93M(対照群：一般的な精製飼料)
- OYC-NASH2(試験群)



OYC-NASH2 : 36週



OYC-NASH2 : 48週

- 肝硬変 + 早期腫瘍形成
- 重度線維化：ステージ4

【リファレンス】 Qianqian Zheng, et al. Establishment of novel mouse model of dietary NASH rapidly progressing into liver cirrhosis and tumors. Cancers. 2023, 15, 3744.

NASH様肝疾患誘発飼料

OYC-NASH1および2の特長、主成分含量（計算値）

	単位	AIN-93M	AIN-93G	OYC-NASH1	OYC-NASH2
水分	%	9.0	9.0	9.0	9.0
粗蛋白	%	12.7	18.1	17.2	17.1
粗脂肪	%	4.3	7.3	28.2	27.4
粗灰分	%	3.0	3.1	3.0	2.9
粗繊維	%	5.0	5.0	4.7	4.7
NFE	%	65.9	57.6	38.0	39.0
カロリー	kcal	353.5	368.0	474.2	470.5
蛋白カロリー比	%/kcal	14.4	19.6	14.5	14.5
脂質カロリー比	%/kcal	11.1	17.8	53.5	52.3
NFEカロリー比	%/kcal	74.5	62.6	32.0	33.2
飽和脂肪酸	%/TFA	15.9	15.9	34.4	41.7
一価不飽和脂肪酸	%/TFA	23.8	23.8	29.3	46.4
多価不飽和脂肪酸	%/TFA	60.1	60.1	36.2	10.1
メチオニン添加量	%	0.34	0.51	0.11	0.11
コリン添加量	%	0.18	0.25	-	-

TFA：総脂肪酸

種々の文献を参照し、複数回の予備検討を基に開発したOYC-NASH1およびOYC-NASH2は、**NASH様病態を誘発できる**よう、メチオニン減コリン欠乏高脂肪飼料(CDAAHFD)をベースとして、脂質や糖質の種類・含量を最適化しました。

両飼料ともにメチオニン・コリン欠乏飼料(MCD)で認められる著しい体重減少を呈さず、常温で固型の状態を維持可能であることから、**取扱い易く、再現性も得られ易い飼料**となります。

その上で脂肪酸組成をはじめとする複数の病態誘発因子の種類や含量を意図的に変化させることで、病態ステージに差異をもたせることに成功しました。線維化指標の**Fibrosis scoreが1-2を維持するOYC-NASH1はマイルドな病態研究に適します**。一方、**Fibrosis scoreが最高値の4に達するOYC-NASH2はシビアな病態研究に適します**。

製品規格

製品名	包装形態	照射線量	品番	配送条件
OYC-NASH1	2kg×5/箱	—	OYC2903400	冷蔵
OYC-NASH1	2kg×5/箱	30kGy	OYC2903500	冷蔵
OYC-NASH2	2kg×5/箱	—	OYC2903600	冷蔵
OYC-NASH2	2kg×5/箱	30kGy	OYC2903700	冷蔵

- 注 文：受注生産品となりますので、ご注文の際は営業担当者へご用命ください。
- 使用期限：使用期間は、製造日から未開封の状態です。3ヶ月が目安となります。開封後はできるだけ速やかにお使いください。
- 交換頻度：週2回以上は必ず全量の飼料を交換し、古い飼料は廃棄してください。
- 保存条件：直射日光を避けて、冷蔵保存をお願いいたします。
- 照射処置：ガンマ線照射を行うと、脂質の酸化並びにビタミン類をはじめとする栄養成分の変動を来す場合がございます。照射品のご依頼時には、本点についてのご理解をお願いいたします。
- 製造条件：上記規格と異なる条件での製造も可能です。お気軽にお問合せください。

オリエンタル酵母工業株式会社 バイオ事業本部 リサーチソリューション部

〒174-8505 東京都板橋区小豆沢3-6-10 TEL 03-3968-1192 FAX 03-3968-4863

URL <https://www.oyc.co.jp/bio/LAD-equipment/LAD/custom.html>

E-mail fbi@nisshin.com



東日本バイオ営業部 〒174-8505 板橋区小豆沢3-6-10 TEL 03-3968-1163 FAX 03-3968-1196

西日本バイオ営業部 〒564-0043 吹田市南吹田4-4-1 TEL 06-6338-1095 FAX 06-6384-7692

株式会社オリエンタルバイオサービス

〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町28 TEL 075-322-1177 FAX 075-322-0232

株式会社ケービーティーオリエンタル

〒841-0071 鳥栖市原古賀町976-2 TEL 0942-81-2400 FAX 0942-81-2401